

平成26年度 妙高市教育研究会社会科部 活動報告

部長 岡田 和則

1 研究主題 地域に根差した授業改善 ～地域素材の教材化を通して～

2 研究の概要

- ・授業に生かせる地域素材を発掘し、「素材」を「教材」に高める教材開発を行う。
- ・追究意欲を育む学習過程の在り方を探る。(資料、発問・指示、学び合い)

3 研究の実際

<地域素材の発掘① 地域巡検>

- ・期 日 8月21日(木) 8:15～12:00 ・参加者12名
- ・コース ①斐太郷土資料館 ②斐太遺跡 ③ダイセル新井工場 ④東北電力鳥坂発電所
- ・講 師 妙高市教育委員会生涯学習課 佐藤慎 様

今年度は、新井地区を中心に巡検を行った。講師の佐藤慎様からは、妙高市で発掘された縄文時代、弥生時代の遺物の概説、また斐太遺跡の歴史的価値について、現地で説明していただいた。また、ダイセル新井工場では広い工場内を車で回り、「工場」のイメージ化を図ることができた。発電所では関川水系の発電の概要やクリーンエネルギーとして将来的にも持続・発展する水力発電所の様子を見学することができた。

<地域素材の発掘② 講演会>

- ・期 日 8月21日(木) 14:40～15:30 ・参加者20名
- ・演 題 『北国街道の概要とその歴史』
- ・講 師 北国街道研究会会長 金子潤次 様

北国街道の概要について、その成り立ちや街道の様子、関所や宿場町の様子について、「北国街道観光ガイドブック」をもとに解説していただいた。



<追究意欲を育む学習過程 授業研究>

- ・期 日 11月11日(火) ・会場 妙高小学校 ・参加者20名 金子会長講演
- ・単元名 3年社会「店ではたらく人」
- ・授業者 妙高小学校 山崎紀之 教諭 ・指導者 妙高小学校 校長 望月正樹 様

市教研一斉研修会の日に合わせ、授業研究会を行った。協議会では、授業の反省を行うとともに、ワークショップを実施した。「資料」「学習課題」「発問・指示」「子供同士の学び合い」について、地域に根差した授業改善の視点から成果と課題を出し合い、参加者で共有することができた。



ワークショップ

4 成果と課題

巡検は2年目を迎え、今年度は新井地区で実施した。諸行事等が重なり午前中のみ日程だったが、講師にも恵まれ、充実した巡検とすることができた。社会科部員のみならず、もう少し広く参加者を募る必要性を感じた。

公開授業では、地域素材先にありきではなく、「見学に行きたい」という主体的な子供の意欲を引き出すために地域素材を活用していかなければならないことが確認された。目の前の子供の必要感から授業構成を図る手法について、今後授業改善に生かしていかなければならない。